

おまえざき

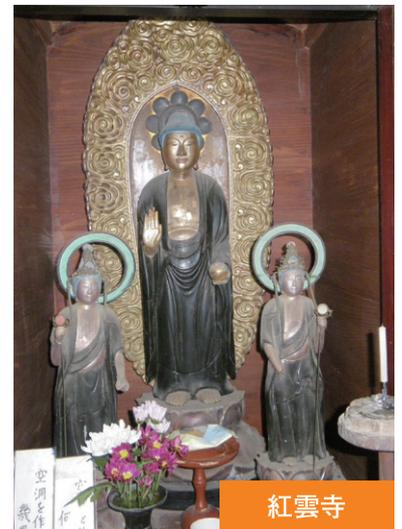
市議会だより

第58号

2019. 4.5.6月

令和元年 8月発行

- ② 6月議会定例会
- ④ 委員会質疑
- ⑤ 一般質問
- ⑨ 委員会報告



白羽の由来

白羽神社の最初の祭神の名前（長白羽命^{ながしろわのみこと}）から付けられたという説と、万葉集に詠われている志留波^{しるは}が転化したとの説がある。万葉集（日本最古の歌集）に収録された防人の歌に「遠江 志留波の磯と爾閉の浦と合ひてしあはば言も通はむ」とある。御前岩を頂点に西は尾高から、北は地頭方に至る荒磯の岩に砕ける白い波の景観から付けられたと解され、713年（和銅6年）に二字の嘉名^{かめい}を充てよという詔^{みことり}から現在の「白羽」の名となったと伝えられている。 ※嘉名=良い名前